〝三池にまなぶ集会〟を閉じるとき、皆で闘いを前進させることを誓ったが、その中に故小池君の魂もきっと加わっていた事だろう。

子供の魂は三池へ……

悲しみ乗り越え頑張る決意

故小池君のお父さんからの便り

謹んでご挨拶を申上げます。

私は、二月十四日、秩父鉄道にて事故のため死亡致しました大倉電気株式会社に勤務しておりました労働組合書記長（青婦長）小池和男の父でございます。

生前は和男が大変お世話になりまして、有難うございました。二月十五日には三池にまなぶ全国集会に行きまして、皆様方とお話ができることを非常に喜んで待っておりました。和男もさぞ無念でございましょう。

でも和男は、内海さんの胸に抱かれて、一人の社会主義者の魂は皆様方の許を訪問することができました。

井手さんには、ご香料までお届けいただきまして誠に有難うございました。また三池労組のご一同様よりご香典をいただき、ご受納するのに涙がこぼれました。どうか皆様方に、くれぐれもよろしくお伝え下さい。そして新しい、楽しい社会ができあがるまで、一生懸命頑張って下さい。私も、子供の分まで頑張って、良い社会が一日も早くできる日まで頑張ることを誓います。

私も、社会運動を長くやっておりますので、子供にも一生懸命に応援してやっておりましたが、惜しい子供を、同志を死なせてしまいました。大変悲しゅうございます。

どうか皆様方、本当に体を大切にして、事故等は絶対に起こさないで下さい。心からのお願いでございます。

井手様ご一家のご健康と、三池労組の皆様方が本当に楽しく暮らせる社会ができる日を祈りまして、お礼の言葉にかえさせていただきます。

この便りについて一言

この便りは井手執行委員（CO・遺族問題担当）のもとへ、小池甲子男さんから寄せられてたものです。去る二月十六日―十九日の間開催されました〝第十回三池にまなぶ全国集会〟に参加するために、十五日の出発の日を目の前にした、十四日朝思わぬ交通事故のため、突然逝去された小池和男君（二十一才）のお父さんからのものです。

その全文を紹介し、改めて小池君の冥福をお祈りするとともに、お父さんをはじめご一家のご多幸を心から祈りたいと思います。

なお、小池様ご一家のお住居は「埼玉県秩父市大字大野原五〇五の一」です。せめて便りでもよせて、故小池君の霊前に聞うことを誓いましょう。

随筆

〝梅散らし〟と〝まなぶ〟

いなもと記

二月の寒風に〝梅散らし〟と、美しいよいよ名の季節の訪れ。毎年〝まなぶ〟の仲間が来られて、早や十年の年月をむかえました。

最近の〝まなぶ〟の方たちは、私の子供と同じ年代の人たちです。十年前、この人たちはどんな生き方をしていられたでしょう。学卒で何にもしらず、社会人になり、なれない土地で、苦しい職場で、こんなにもたくましく生きて来られたこの人たちに、敬意を表したい。

これも、先輩の仲間より受けつがれた成果だと思います。

私たちは内職におわれ、ややもすれば自己主義になり、受け入れを嫌がったりする。恥しいかぎりだ。でもこの人たちの顔を見ればやはり受け入れて良かったとすがすがしい気持になる。

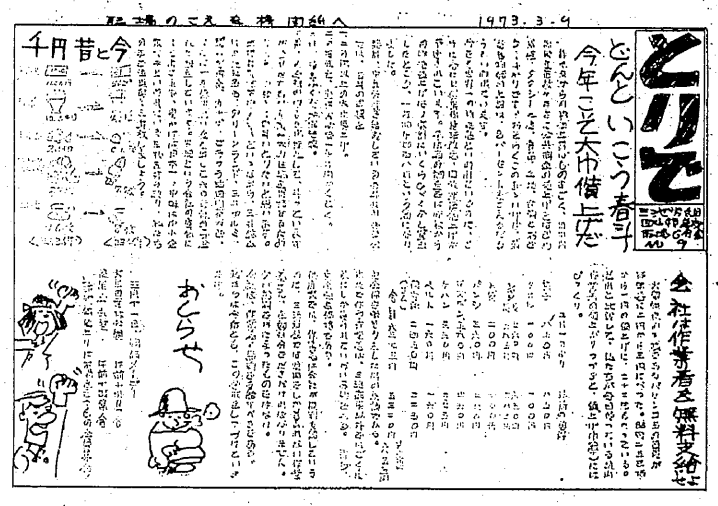
三池に来て何でも知ろう。またまなぼう、と私たちに問いかける。この純粋なまなざしを受けとめたい気持で一ぱいです。

私たちもこの若い仲間に負けずにはげまし合い、闘いの輪を広げて行きましょう。

〝梅散らし〟が吹くたびに、私も〝まなぶ〟の仲間とともに、冷い風の中で頑張るつもりです。

×

この一文は、宮浦指導部宮前地域分会と宮前主婦会共同の新聞〝宮前〟（NO・六、三月一日発行）から。



四山6分会の〝とりで〟息吹き返す

「見かけは日本一で中身は中小企業並み」という労働条件を打破しよう！

昨年来からの物価上昇はものすごく、田中内閣成立後数カ月間に公共料金の値上げをはじめ、米価、タクシー料金、食品、土地、衣料と、おどろくばかりです。

おそらくこのままいけば、消費者物価の上昇は、八％をこえるだろうといわれています。

いまでも世界一の物価高といわれているのに、さらに春には健康保険法改悪、国鉄運賃値上げが予定されています。厚生省の調査では昨秋からの物価値上げは、家計にいくらひびくかと算出したところ、一万四千四百八円という額になりました。

総評、中立労連で結成している春闘共闘委員会では、春闘の目標を一、二万円以上の大幅賃上げ。二、労災死亡、重傷害補償一千万円獲得。三、休日増をふくむ時間短縮。四、最低賃金制の確立。を指標にかかげ闘っていますが、私たちも他産業なみの生活を維持するためこの春闘目標をぜひ闘いとりたいと思います。

石炭産業は不況不況といいながら、三井鉱山は三池闘争後グリーンランド、三井アルミ、響灘開発、カナダ（パルマー炭鉱）、ビラフラ油田開発など、すでに一千億円近い金をだして、六十数社の子会社を設立しています。

不況という会社の宣伝にまどわされず、「見かけは日本一、中身は中小企業なみ」といわれている現在の労働条件を打ち破り、私たちの手で、運命のような貧乏を追放しましょう。

×

四山指導部六分会新聞〝とりで〟（NO・九、三月九日発行）から。

賃見

一ケチ二ケチ三ケチですむことか？

四山　一主婦

毎年の賃上げを上まわる物価高も、今年にはいってからの値上がりは、異状としか言いようがない。豆腐をはじめとする食品の値上がりはもちろん、呉服屋をのぞくとじゃんじゃん値上がりするから、「いまのうちに買っておいた方が得ですよ」、と言われる。いまのうちに買いだめできる金があったら、こんな苦労もしないですむのです。

わが家の主人も、二カ月間公傷で休み、賃金が二万円近くダウンした。その上に、税金の追徴分まで差っ引かれて、踏んだり。

一人分のそれでは生活できない賃金しか与えていないのに、まだ税金までを取り立て足りないとでもいうのでしょうか。

今朝の新聞に、物価高に対処する主婦の意見が出ていました。一ケチ、二ケチ、三にもケチで、衝動買いをつつしむ。みえをはらぬ。手づくりにつとめる――と書いてありましたが、主婦が浪費するために物価が上がってゆくのか。主婦が節約しさえすれば物価が安定するのか――良く考えてみる必要があると思います。

再販価格制度や管理価格制度と、複雑な流通機構、都市中心の地価の上昇等、数えあげればきりがないが、とくに政府が公共事業と称しては、惜しげもなく大企業のための土地用地や産業道路を造ったり。

国防と称して、軍艦や軍用飛行機をむやみやたらに買ったり。そしてインフレを促進する。その結果が、主婦に節約が強いられてくるのではないでしょうか。

主婦の内職が本職化し、考える暇さえ与えられない毎日の暮らしだが、主婦としてわが家の家計を考えるたびに、政府の会計も勉強し、監視していかなくてはならないとつくづく思っています。

×

この欄は、主婦の皆さんのものです。どしどし怒りを、苦しみを、要求をぶつけましょう。

73春闘の勝利かかげ

国際婦人デー集会開く

【連合】一九七三年国際婦人デー中央集会が三月八日夜、東京の文京公会堂で開かれ、二千五百人（主催者発表）が参加した。ベトナム和平協定の結ばれたことしの集会は、七三春闘勝利、母性保護の諸権利確立と並んで、ベトナム和平協定完全実施、安保条約廃棄のスローガンで開かれた。

先頃、ベトナムから帰国した実行委員長の櫛田ふきさんは「きょうは社会主義国では、女性がプレゼントを受ける日です。私たちは決起する日です。ベトナム人民にいまあるのは独立だけです。再建のために支援をいっそう強めましょう」と訴えた。

「国際婦人デーを考える」と題して行なわれたパネル構成劇は参加者に感動を与えた。このあと、ベトナム婦人への連帯メッセージ、日米両政府へ決議、大会宣言を発表して、夜の町をお茶の水公園までデモ行進した。

豆ニュース

国鉄運賃値上げ。暮らしの赤信号無視するインフレ特急。ATSはこわれっぱなし。

×

イイヨニハシナイ四十八年度予算、衆院通過へ。ヒトシニハジマルとも読めますな。

×

年金・物価メーデー（3月11日）に全国百五十万人が決起。